

# アイディシーNEWS 特別版 チタン冠について

2022.6

## 技工情報

### ◎チタンの保険適用について

#### 歯科鑄造用チタン合金の保険適用について

(厚労省 令和2年告示第227号より)

1. 保険適用日 2020年6月1日
2. 材料名 純チタン2種
3. 実施上の留意事項、材料点数
  - (1) 純チタン2種の全部金属冠により大臼歯の歯冠修復を行った場合は、区分番号「M015-2」に掲げるCAD/CAM冠に準じて算定する。  
(準用技術料) M015-2 CAD/CAM冠 1,200点
  - (2) 使用歯科材料料 66点
4. 材料価格算定に関する留意事項  
全部金属冠による歯冠修復を目的として大臼歯に使用した場合に限り算定できる。
5. 特定保険医療材料の定義  
次のいずれかに該当すること
  - (1) 薬事承認又は承認上、類別が「歯科材料(1) 歯科用金属」であって、一般的名称が「歯科鑄造用チタン合金」であること。
  - (2) JIS H4650 第2種に適合するものであること。
  - (3) 大臼歯の全部金属冠による歯冠修復に用いるものであること。
6. その他
  - (1) 5月13日の中央社会保険医療協議会(中医協)総会資料にある金属アレルギーを有する患者などに関する記載はない。
  - (2) 鑄造用ではなくCAD/CAM用の材料を用いた場合は保険算定できない。

「チタン鑄造冠」保険適用の概要

#### 【算定要件】

レジン前装チタン冠とは、純チタン2種を用いて、全部鑄造方式で製作された歯冠修復物の唇面を硬質レジンで前装したものをいい、前歯において用いる場合(単独冠に限る)に限り認められる。

※レジン前装チタン冠の製作技術点数、保険医療材料点数

- (1) M011-2 レジン前装チタン冠  
(1歯につき) 1,800点
- (2) 保険医療材料点数 60点

※2022.4より、レジン前装チタン冠の保険点数が新設されました。

### ◎チタンはこの様な金属です

- 1) 融点 一般的に約1,670℃前後と高温になります。
- 2) 比重 4.5と非常に軽いです。  
これは金合金の1/4、Co-Cr合金の1/2程度となります。
- 3) 耐食性 酸素のある環境では、表面に不動態被膜を形成するので金合金に匹敵する耐食性を持ちます。
- 4) 硬さ 硬いイメージがありますが、これは、アズキャストの状態では、硬度は200HV程になります。  
実際に完成した補綴物は、表面を一層除去した物で、その内部の硬度は150HV程度になります。  
これは、金合金のタイプⅢ、Ⅳに相当します。

### ◎チタンの補綴物について



第2種純チタンを使用した大臼歯の全部金属冠



第2種純チタンを使用した前装冠の金属フレーム

適切な埋没材と鑄造機を選択することにより、リテンションピースがよく再現されている。アルミン酸塩-マグネシア系埋没材(シンピオン-TC、ニッシン)、チタン専用鑄造機(セレキャストスーパーR、セレック)。

保険適用の補綴物は、大臼歯部の鑄造冠及び前歯部におけるレジン前装冠になります。